

ある日の育児日記から

(97)

佐藤 和代



ある日、圭が帰ってくるなり「学校で男子が、圭のこと、鬼ババって呼ぶんだ」と憤慨していました。思わず「圭、身から出たサビ、って言葉、知ってる？」と笑ってしまった私。圭はどうも、口うるさいのよね。学校でも、そうじをさぼっている男の子なんかを叱り飛ばしているんでしょう。どこのクラスにもいるわね、そういう女の子。悪い子じゃないんです、自分で正しいと思ったことをずばずば言ってしまうだけ。とはいえ、言われた方はいい気はしないでしょうし、せめてやんわりとやることを覚えてほしいのだけ。正し

いと思っても、きつい言い方は人を傷つけるから、などと話してはみましたが、理解したかどうかはあやしい。もう少し大きくならないとわからないことでしょうか。大人からは「しっかりしている」とほめられる圭ですが、あまりに「しっかりもの」と決めつけられてしまうと、この先、苦勞するんじゃないかしら。：なんて心配はじめていたところへ、友人の漫画家から電話がかかってきました。「今度の作品、圭ちゃんモデルにしてもいい？」「いいけど、どういふ話なの？」「妻に逃げられたお父さんと二人暮らしの、しっかりものの女の子の話」。あああ、もう評価が固まってしまった。



クリスマス会でヨセ7後に。衣裳がかわいいの？